



オレ・オラスタジアム



2022年度 1月号
発行:FC ムサシ
http://ole-musashi.com/
パス: musashi634

新年あけましておめでとうございます

年末に行われたW杯ではたくさんのスーパープレーを見ることができました。子どもたちも様々な発見や自分の楽しみ方を見つけ、サッカーモードにつながったことでしょう。また、ファミリーで日本代表を応援したり世界のチームの試合を見たりすることで、子どもたちの応援や地元のサッカーチームの試合を見に行くなど、サッカーというスポーツをキーワードに「家族で楽しむ」というサッカー伝統国の文化が、自然な光景になったら嬉しいです。

2023

Feliz Ano Novo!

FIFAワールドカップ カタール大会 Bravo!! 日本!

アルゼンチン

36年ぶり3回目のワールドカップ優勝! メッシは英雄マラドーナを超える大会7ゴール3アシストでチームを牽引、母国にタイトルを導いた功績は永遠に語り継がれる! 前大会のメッシに依存したチームではなく、若手のアルバレスが得点を挙げるなどバランスの取れた攻撃が上積みされ、行き詰った時にはボックス近くでメッシが決定機を演出。南米特有の粘り強い守備も輝いていた。まさにアルゼンチンらしい戦い方でワールドカップの栄冠を手に入れた!

フランス

前大会優勝経験をもとに戦略と戦術が充実。直前の怪我で離脱した選手がいる中でも世界最高プレイヤーの呼び声高いエムバペをはじめ、グリーズマン、デンベール、ジユールとタレントも揃いテクニク、スピード、アグレッシブなど現代サッカーのベースを底上げし、前大会同様攻守ともに安定感抜群! スピードを生かしたカウンター攻撃はもちろん、守備を固めてきた相手に対してもエムバペなどの個の力で得点に結びつけるクオリティーは世界トップレベル!

日本

ドーハの悲劇から29年、同じ地ドーハで世界の強豪国ドイツ・スペインに歴史的勝利をおさめ、観衆にも喜びと感動を与えてくれたサムライブルー。守備を固めてきた相手に対してポゼッションからの攻略には課題が残りましたが、伊藤・三笥・浅野・堂安を中心にスピードを活かした勢いのある攻撃は素晴らしかったです! ベスト16ではPK負けで涙をのんだものの、日本のサッカー少年たちにも目標を与えてくれたと思います。これからの日本代表の進化に期待!

ブラジル

決勝トーナメントの1回戦目までに全メンバー26名に出場の機会を与える愛のある采配でチームの一体感、コレクティブスピリッツを浸透させた。サポーターを魅了するリズムカルでトリッキーな攻撃スタイル、ネイマール、リシャルリソン、ビニシウス、カゼミロなどのタレントは今大会も観衆に印象を残した。ネイマールは世界のキング、ベレ氏に並ぶ代表歴代77得点に並んだが、ブラジルが闘病中のベレ氏に母国優勝をプレゼントできなかったのは残念。

アジア8か国と

アフリカの新星モロッコ

3チームが決勝トーナメントに進出したアジア。全体のレベルが上がってきていると感じます。また、今大会アフリカ勢として初めてベスト4にも入ったアトラスの獅子・モロッコ。どんな相手にも屈しない闘争心は大会ベスト! 前線からのハードワーク、守護神GKポノと全員の堅守備が素晴らしかったのに加え、8ウナイのテクニク、19エンネシリリのジャンプ到達点なんと278センチヘディングシュート、早くアグレッシブな攻撃で観衆を魅了! 今まで優勝国は南米・欧州だけでしたが、アジアやアフリカの国が優勝する日も近いかもしれません。

ムサシ独断! Player Focus!!

みんなはW杯を見て印象に残ったプレーやお気に入りのプレーはあるかな?

ゴールセレブレーション (ゴールパフォーマンス)

エムバペは腕を組んでのお決まりのポーズ、メッシは天を指さすポーズなど今大会でもゴールの後に様々なセレブレーションがありましたね。ブラジルは国民的なサンバのリズムでチームメイトと喜びを分かち合う姿が印象的でした。

大会ベストゴール!

- ① リシャルリソン(ブラジル) vsセルビアのオーバーヘッド
 - ② エムバペ(フランス) 決勝vsアルゼンチン スーパーボレーシュート
 - ③ 堂安(日本) vsスペイン 同点に追いついた左足ミドルシュート
- イラストby.Rina(会員) → みんなもW杯の感想などコーチに教えてね! オレオラに載るかも!!

PK対決

決勝トーナメントでは延長でも勝敗がつかず、PKにもつれ込む試合がたくさんありました。日本代表はキッカーを志願で決めたそうです。選手たちの勇気は本当に素晴らしいです! みんなだったら勝敗を決めるPKのキッカーに勇気をもって志願できるかな? 『PKを外すことができるのは、PKを蹴る勇気を持った者だけだ!』94W杯R.Bajio(イタリア)が決勝のPK戦5人目でシュートを外した後の言葉

ゴールデンボール (MVP) メッシ

メッシが7ゴール3アシストのほか、得点に絡むチャンスを出したことで受賞。2014年に続く2回目の受賞は史上初だが、その快挙よりもワールドカップを手に入れたことの喜びは大きい。

ゴールデンブーツ (得点王) エムバペ

スーパーゴールはもちろん、チームがゴールを必要としている難しい時間帯でも決定力を発揮。様々な体制や左右、体のどこでも得点がとれる! 決勝でハットトリックを達成するモンスター!

アシストランキング

メッシ、グリーズマンなど5人がアシスト3で並んだ今大会。日本の試合では三笥選手の最後まで諦めないアシストも印象に残りました。

各国の育成強化

今大会でもパドリ・ガビ(スペイン)、アルバレス(アルゼンチン)、ロドリゴ(ブラジル)などたくさんのニュージェネレーションプレイヤーが頭角を現しました。タジキスタン U17 コーチ時にU17ワールドカップでアルゼンチン、スペイン、カメルーンと対戦した時にも感じましたが、強豪国は若い世代から世界の舞台で技術・戦術だけではなくアイデンティティーを活かす戦い方を理解しているように思います。アンダーカテゴリーの強化が今後も発展のキーになっていくのではないかと思います。

ワールドカップ初開催の中東という環境、気候による開催時期変更などもあり、予想通りサプライズが多かった大会になりました。4年間の準備期間を含め、カタールでの1ヶ月を勝ち進むための戦略(マネージメント)、戦術、チームの総合力がポイントになったことと思います。選手26名を支える総合スタッフ(コンディショニング、メディカル、コーディネーター、メディアサポートなど数十人にもなるたくさんの人々)が共通目的意識をもってアシストしてきたからこそ、選手たちが最大のパフォーマンスを発揮できたのだと思います。チームの実績だけではなく国民の情熱(関心度)やメディアを含め、フットボールの歴史や文化などがアイデンティティーとして蓄積されていくことでしょう。

All for Messi, Messi for All

決勝ではアルゼンチンがメッシのために全員がハードワークを行い、メッシがチームメイトのためにチャンスを出した。伝統の堅い守備でフランスの良さを封じ込める場面が目立ちました。フランスは予想外の展開の中、選手たちがゲームの流れを読み対応する能力の高さ、成熟された組織力を発揮し、ここぞという時に決めるエース・エムバペの活躍。最後は、あらゆるタイトルを受賞していたメッシがどうしても欲しかったワールドカップを手にした今大会。Futebol Paixao! フットボールの情熱! サッカーに関わっている喜びを感じさせてくれた大会でした。

Musashi's EVENT

秋にはムサシで毎年恒例のハロウィン、タイムトライアルを実施しました。また、幼児クラスでは例年より時期を早めてお楽しみ会を実施いたしました。普段の練習にちょっとした楽しみを加えたミニイベントを、今後も実施していきたいと思っています。



コーチより



おたのしみ会

2022W杯カタール大会 プレイバック

みんなの感想も大募集!

- ワールドカップを観て、印象に残ったことや感じたことをコーチにも教えてね。3月号のオレオラに一部を掲載させていただきます!
- 応募の締め切りは2/10(金)。
- 紙に書いてコーチに渡してね。
- たくさんのみんなの感想、お待ちしております!!

Musashi

World Cup TOTO 応募総数 276

ムサシ恒例、TOTOにたくさんのご応募ありがとうございました。見事アルゼンチンの優勝を予想してくれた35人のけりともにはプレゼントがあるので楽しみにしてね! ちなみに一番人気はブラジルの138票でした。準優勝のフランスはブラジル、アルゼンチンに次いで30票。日本の優勝を願っての応募もたくさんありました。優勝国を予想して、応援して、よりワールドカップに興味を持っていただけたら嬉しいです。これからもいろいろな試合の勝敗予想をしたり、自分の推しの選手を見つけて応援したり、サッカー観戦をもっと楽しもう!

3月2週目に小学6年生が在籍するクラスで卒業セレモニーを行う予定です。修了証とコーチの寄せ書きが贈呈されます。6年生のみんなは最後まで頑張ろう! ご家族の皆様もぜひ見に行ってください。